

## 大阪公立大学医学部附属病院長候補者の選考結果等について

大阪公立大学医学部附属病院長候補者選考会議長

大阪公立大学医学部附属病院長候補者選考規程第 11 条に基づき、次のとおり公表する。

### 1 選考結果

次の者を病院長候補者とする。

氏名 中村 博亮（なかむら ひろあき）

現職 公立大学法人大阪 理事

大阪公立大学医学部附属病院 病院長

### 2 選考過程

2024 年 7 月 22 日（月） 第 1 回候補者選考会議

2024 年 8 月 29 日（木） 第 2 回候補者選考会議

2024 年 9 月 30 日（月） 第 3 回候補者選考会議

### 3 選考理由

推薦された候補者は、中村博亮氏 1 名であった。書類選考により、大阪公立大学医学部附属病院長候補者選考規程第 7 条の資格要件を満たしていることを確認した。

選考においては、上記の資格要件の確認に加えて、①運営改革、②教育研究改革、③診療改革、④財務・経営改革の 4 つの観点に重点をおき、推薦書や候補者の所信表明書をもとに評価を行った。

#### ① 運営改革について

「安定的な病院運営」、「医療安全の推進」をテーマに掲げている。病院運営においては、人件費の高騰、薬剤費や医療材料費を含めた諸物価の高騰、減価償却費の高騰、コロナ補助金の打ち切りなどの影響がある状況下で、経営 4 指標（病床稼働率、初診外来患者数、新規入院患者数、DPCII 超え率）を設定し、その数値目標を明確にするとともに、職員全体が診療科・病棟別の日々の数値を把握できる仕組みを作るなどした。医療安全においては、医療事故調査制度に基づいた調査を複数回経験しつつ、その経験をもとに、時系列に沿った問題点の抽出方法や改善点の明確化など、自らが手法を学んでいる。またオカレンス審議会などでは、医療の質・安全管理部の協力を得ながら、可能な限り些細な兆候も報告される風土が醸成されるように取り組んでいる。

#### ② 教育研究改革について

「人間味と国際性豊かな医療人の育成」、「国際化に向けた体制整備」をテーマに掲げ、近年は国際感覚の醸成に注力している。その一環として、JMIP（外国人患者受け入れ医療機関認証制度）を受審し、昨年度も更新している。また、大阪・関西万博の開催を控えている現在、外国人患者の円滑な受け入れを促進するとともに、海外からの大学院生の受け入れや、外国人医師の臨床修練制度の活用を中心とした外国人医師の受け入れ促進も行っている。

### ③ 診療改革について

「地域医療連携の強化」をテーマに掲げ、地域医師会等との交流を目的とした“face to face の会”や、大阪市立総合医療センターと合同での市民公開講座を開催するなど、地域への情報発信と地域医療機関との連携に取り組んでいる。また、当院への紹介患者が多い医療機関に自ら訪問し、直接のお礼、患者紹介の促進依頼を行うなど、精力的に活動し、地域からの初診患者や新規入院患者数の向上に取り組んでいる。また地域連携ネットワーク（Web システム）の利用促進を図り、地域医療連携の利便性向上にも貢献している。働き方改革においては、宿日直体制をチーム制に移行し、同時にタスクシフト／シェアに取り組みつつ、リモートカルテの導入を検討するなど、DX化にも着手している。

### ④ 財務・経営改革について

先述のとおり、コロナ禍以降、病院経営は厳しい状態にあるが、その対応策として、経営4指標を明確化し、診療科・病棟別の稼働率を職員が日々把握できるシステム作りを行ったほか、繰上げ週末入院の促進、土曜日手術の導入、通院中患者の救急受け入れ促進など、経営改善に向けた具体的対策を講じている。

以上のことから、候補者は、病院長として求められる資質・能力を現職においても十分に発揮しており、大阪公立大学医学部附属病院を今後更に発展させていくことが期待できるものと判断し、全会一致で病院長候補者として推薦する。